PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2001-219805

(43) Date of publication of application: 14.08.2001

(51)Int.Cl.

B60R 21/20

B60K 37/00 B60R 21/045

(21)Application number : 2000-360535

(71)Applicant : HITACHI CHEM CO LTD

(22) Date of filing:

28.11.2000

(72)Inventor: HASEGAWA YOSHITOSHI

IRIGUCHI TAKENORI KAMATA MINORU

(30)Priority

Priority number: 11338804

Priority date : 29.11.1999

Priority country: JP

(54) INSTRUMENT PANEL

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an instrument panel with an air bag device assembled portion on front passenger seat side having a seamless surface. SOLUTION: This instrument panel 10 has a formed material layer 12 formed on a core material layer 11 of the instrument panel and a skin layer 13 covering the foamed material layer 12. An air bag lid 14 on the front passenger seat side is fitted to an air bag device assembled opening on the front passenger seat side, provided at an air bag assembled position on the front passenger seat side of the core material layer 11. The air bag lid 14 on the front passenger seat side is seamlessly covered with the foamed material layer 12 and the skin layer 13 covering the foamed material layer

BEST AVAILABLE COPY

12. Easy-to-rupture portions 15 are provided near a peripheral portion 14a of the air bag lid 14 and near a peripheral portion 14a of the air bag lid 14 on the foamed material layer 12 and the skin layer 13 covering the foamed material layer 12 so that the air bag can be ruptured during development while leaving a hinge portion 14b.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-219805A) (P2001-219805A) (43)公開日 平成13年8月14日(2001.8.14)

(51) Int. C1. 7	識別記号	,	FΙ	テーマコード(参考)
B 6 0 R 21/20	•		B 6 0 R	21/20
B 6 0 K 37/00			B60K	37/00 B
				J
B 6 0 R 21/045	•		B 6 0 R	21/045 B
審査請求	未請求 請求項の数3	ΟL		(全5頁)
(21)出願番号 特別	類2000-360535 (P2000-360535)		(71)出願人	000004455
				日立化成工業株式会社
(22)出願日 平原	成12年11月28日 (2000. 11. 28)			東京都新宿区西新宿2丁目1番1号
			(72)発明者	長谷川 義利
(31)優先権主張番号 特別	頁平11-338804			茨城県下館市大字五所宮1150番地 日立化
	戊11年11月29日(1999.11.29)	ŧ		成工業株式会社五所宮事業所内
(33)優先権主張国 日2	ķ (JP)		(72)発明者	入口 剛典
				茨城県下館市大字五所宮1150番地 日立化
				成工業株式会社五所宮事業所内
	•		(72)発明者	鎌田・稔
				茨城県下館市大字五所宮1150番地 日立化
				成工業株式会社五所宮事業所内
			(74)代理人	100074631
				弁理士 高田 幸彦 (外1名)

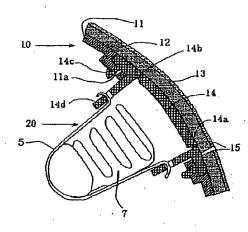
(54)【発明の名称】インストルメントパネル

(57)【要約】

【課題】助手席側エアバッグ装置組み込み部の表面がシームレスなインストルメントパネルを提供する。

【解決手段】インストルメントパネルの芯材層11の上に発泡体層12及びこの発泡体層12を覆って表皮層13を形成してなるインストルメントパネル10において、芯材層11の助手席側のエアバッグ装置組み込み位置に設けた助手席側のエアバッグ装置組み込み用開口に助手席側のエアバッグリッド14を嵌合し、発泡体層12及びこの発泡体層12を覆う表皮層13により助手席側のエアバッグリッド14をシームレスに覆い、エアバッグリッド14の周辺部14a並びに発泡体層12及びこの発泡体層12を覆う表皮層13のエアバッグリッド14の周辺部14a近傍に、エアバッグ展開時にヒンジ14bとなる部分を残して破断するように易破断部15を設ける。

図 1



- 10 インストルメントパネル 11 芯材層 11a 角穴 12 発泡体層 13 表皮層 14 エアパックリッド 14a エアパックリッド14の周辺部
- 146 ヒンジ 14c 鉄合爪 14d 取り付け部
- 20 エアバッグ装置

(2)

特開2001-219805

【特許請求の範囲】

【請求項1】 芯材層の上に発泡体層及びこの発泡体層 を覆って表皮層を形成してなるインストルメントパネル において、芯材層の助手席側のエアバッグ装置組み込み 位置に設けた助手席側のエアバッグ装置組み込み用開口 に助手席側のエアバッグリッドを嵌合し、発泡体層及び この発泡体層を覆う表皮層により助手席側のエアバッグ リッドをシームレスに覆ってなるインストルメントパネ ル。

1

層及びこの発泡体層を覆う表皮層のエアバッグリッドの 周辺部近傍に、エアバッグ展開時にヒンジとなる部分を 残して破断するように易破断部を設けてなる請求項1に 記載のインストルメントパネル。

【請求項3】 助手席側のエアバッグ装置組み込み用開 口に、オレフィン系熱可塑性エラストマーで形成したエ アバックリッドが嵌合され、芯材層及びエアバッグリッ ドの表面に塗布した接着剤を介して発泡体層及びこの発 泡体層を覆う表皮層により芯材層と助手席側のエアバッ グリッドがシームレスに覆われてなる請求項1又は請求 20 項2に記載のインストルメントパネル。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、インストルメント パネル、特に助手席側にエアバッグ装置を組み込んでな るインストルメントパネルに関する。

[0002]

【従来の技術】自動車の搭乗者を衝突時の衝撃から保護 するため、最近はエアバッグ装置を標準装備とした自動 車が増加してきている。

【0003】運転席側のエアバッグ装置は操向ホイール に組み込まれ、助手席側のエアバッグ装置はインストル メントパネルに組み込まれている。そして、この助手席 側にエアバッグ装置を組み込んだインストルメントパネ ルとして、図3に示すようにインストルメントパネル1 の芯材層2の上に発泡体層3及びこの発泡体層3を覆う 表皮層4を、また、金属板からなるエアバッグリッド芯 材層6aの上にエアバッグリッド発泡体層6b及びこの エアバッグリッド発泡体層6bを覆うエアバックリッド 表皮層6cをそれぞれ形成するようにした構造のもの と、図4に示すようにインストルメントパネルの芯材層 11及びポリオレフィン系熱可塑性エラストマー(TP O)からなるエアバックリッド14の表面側には上記の ような発泡体層や表皮層を形成しないハードインストル メントパネルと称する構造のものがある。

【0004】以下助手席側のエアバッグ装置について、 従来の組み込み構造について図3を参照して説明する。 インストルメントパネル1は、芯材層2の上に発泡体層 3及びこの発泡体層3を覆って表皮層4を形成してなる

は、エアバッグケース5と、エアバッグリッド6と、エ アバッグケース5内に収納されたエアバッグ7を有して いる。そして、エアバッグリッド6は、インストルメン トパネル1と同様の構造、すなわち、エアバッグリッド 芯材層6aの上にエアバッグリッド発泡体層6b及びこ のエアバッグリッド発泡体層 6 b を覆ってエアバッグリ ッド表皮層 6 c を形成してなる構造を有している。そし て、助手席側のエアバッグ装置8は、インストルメント パネル1に開口を形成して、この開口に上面から組み付 【請求項2】 エアバッグリッドの周辺部並びに発泡体 10 け、インストルメントパネルの裏面にビスや爪嵌合、溶 着等適宜の手段により固定される構造であった。

[0005]

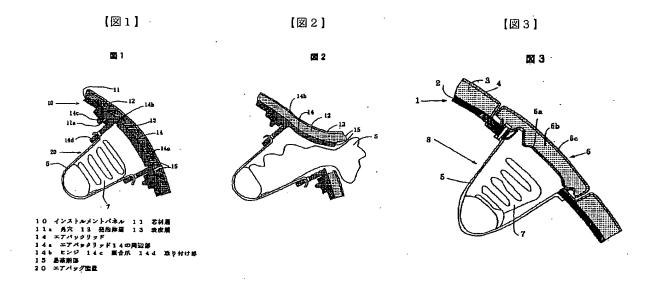
【発明が解決しようとする課題】助手席側のエアバッグ 装置についての従来の組み込み構造によると、インスト ルメントパネル1とエアバッグリッド6とが別体である ため、インストルメントパネル1の表面に段差や隙間が できて外観が悪くなる。また、図3中における発泡体層 及び表皮層のない構造の図4に示したハードインストル メントパネルを図3に示すようなパッド付きのエアバッ グリッドを適用するには、インストルメントパネルの芯 材層11及びエアバッグリッド芯材層6a部分の構造を 変更する必要が生じる。

【0006】本発明は、助手席側エアバッグ装置組み込 み部の表面がシームレスなインストルメントパネルを提 供するとともに、ハードインストルメントパネルにおけ る芯材層及びポリオレフィン系熱可塑性エラストマー (TPO)で形成されるエアバックリッド部分の基本的な 構造を変更することなく、表面パッド付きのシームレス なインストルメントパネルとすることができるようにす 30 る。

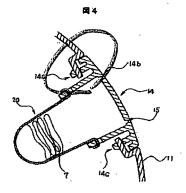
[0007]

【課題を解決するための手段】本発明は、次のものに関

- (1) 芯材層11の上に発泡体層12及びこの発泡体層 12を覆って表皮層13を形成してなるインストルメン トパネル10において、芯材層11の助手席側のエアバ ッグ装置組み込み位置に設けた助手席側のエアバッグ装 置組み込み用開口に助手席側のエアバッグリッド14を 嵌合し、発泡体層12及びこの発泡体層12を覆う表皮 40 層13により助手席側のエアバッグリッド14をシーム レスに覆ってなるインストルメントパネル。
 - (2) エアバッグリッド14の周辺部14a並びに発泡 体層12及びこの発泡体層12を覆う表皮層13のエア バッグリッド14の周辺部14a近傍に、エアバッグ展 開時にヒンジ14bとなる部分を残して破断するように 易破断部15を設けてなる上記(1)に記載のインストル メントパネル
- (3) 助手席側のエアバッグ装置組み込み用開口に、オ レフィン系熱可塑性エラストマーで形成したエアバック 構造を有している。また、助手席側のエアバッグ装置8 50 リッド14が嵌合され、芯材層11及びエアバッグリッ



【図4】



BEST AVAILABLE COPY